



## 助教・新助手問題の取り組みと課題

### 【I】総務担当理事との懇談会を開催しました。

ニュース前号でお知らせしました学長交渉を、学長から授権された総務担当理事との「懇談会」の形式で、9月6日(水)に実施しました。当日は、組合から、竹永委員長・竹内副委員長・松本書記長が、大学当局から、江原総務担当理事・鈴木総務部長・村田人事労務課長・伊藤労務管理グループリーダーが出席し、1時間にわたって話し合いました。その概要は次のとおりです。

#### (1) 第1課題「助教への過度な負担回避のための全学的ガイドライン設定」について

当局は、意見書の趣旨は理解できるとした上で、部局ごとに実情が異なるとの理由で全学的ガイドラインの提示はできないとしました。これに対しては、運用実態が異なるからこそ、統一的・定量的にならなくとも、一定のガイドラインを設けることが重要と指摘しました。

申し入れの趣旨に沿って、「助教への負担が過度にならないよう部局での配慮を求める」との趣旨の発言を学長が評議会で行うことを要請し、了承されました。併せて、各部局で、上記の評議会報告を丁寧に行うようにとの要請を学長が行うことも求めました。なお、この点について、島根大学では、現在の助手の全員が助教に移行すること、新助手は職として設置するが任用はしないということが話されました。

以上のように、組合意見書の趣旨が基本的に了承され、学長の評議会での意見表明につなげることができました。

#### (2) 第2課題「助教にふさわしい給与の格付け新設」について

この点については、相互に所見・主張を述べ合ったにとどまりました。組合からは、今回の制度改定・新教員制度(職階)発足を機に、制度の趣旨に沿った助教に対する処遇(新3級)を要求しましたが、当局の受け入れるところとはなりません。この点については、今後、組合内での協議をもとに、当局に交渉・懇談を求めると伝えました。

#### (3) 第3課題「教務職員中の高位号俸者の処遇改善」について

当局は、今回の新教員制度(職階)の問題と教務職員中の高位号俸者の処遇改善の問題とは切り離して考えるとした上で、問題があることを確認し、教務職員中の高位号俸者の中には、技術職員等に転換することで給与処遇が改善される人がいる事実を確認しているなどと、改善方策について検討していることが話されました。この点については、9月11日の教育研究評議会で、学長が同様の趣旨の発言を行いました。

この件について、組合として、今後引き続き、処遇改善に取り組んでいきます。

#### (4) 今後の交渉等について

懇談終了に際して、組合から、必要な場合には交渉を求めると発言し、当局も、組合から交渉の申し入れがあれば誠実に応じると答えがありました。

### 【II】9月11日の教育研究評議会で学長発言と各部局教授会での紹介

組合からの要請に基づき、9月11日の教育研究評議会で、学長から、助教の職の制度的趣旨を紹介した上で、授業担当等において過度な負担がかからないように配慮して欲しいという趣旨を部局等で報告するよう要請する発言が行われました。これを承けて、各部局では、教育研究評議会報告で、この学長発言について紹介がありました。

ただし、その紹介内容については、部局によって精粗がありますので、各支部では、組合からの申し入れ(8月30日)と担当副学長との懇談会(9月6日)の内容をもとに、学部での具体的運用について注視し、必要に応じて学部長交渉等に取り組んでいただきたいと思います。

## 要求集約月間企画 学習会

### 「大学における裁量労働制を考える」

全国の国立大学法人では、その多くが法人への移行時に教員の裁量労働制を導入しました。島根大学では医学部がその導入の検討に入っており、松江キャンパスに対してもその可能性があります。

組合では、全国の動向と、大学への導入にあたって考慮しなければならない課題について学習会を開催します。要求集約月間のこの時期に、多くの組合員および未組合員にも参加いただき、多くのご意見も頂戴したいと考えています。

日時:10月16日(月)18時00分～19時40分

場所:学生会館2階集会室3・4



## 教育基本法の改正について意見を募集します

この度、安部政権が誕生し、この臨時国会では教育基本法の改正法案が提出されます。そこで、組合では教育基本法改正について組合員の皆様の意見を募集します。ご意見のある方は、お近くの中執委員または組合ボックスまでご意見をお寄せください。

## 全大教教研集会が開催されました



9月22日～9月24日に一橋大学において、第18回全大教教研集会が開催されました。島根大学からは4名の方が参加しました。また書記次長の長山氏は全大教中央執行委員として参加しました。「新教員組織 - 島根大学の動向と組合の取り組み - 」という報告を長山氏が行い、その他4名の方は分科会に参加していただきました。参加していただいた方からの参加記を以下に載せます。

高清水さん(レディース、「男女共同参画社会の実現」分科会に参加)

全大教の教研集会に参加しました。男女共同参画部門では、和歌山大学の先生(男性)による「育児休業を取得して」と題した講演が印象的でした。問題はしっかり押さえながらも面白おかしく語られる体験談に、会場は笑いが絶えませんでした。みなさんが和気藹々として、活発な意見交換が行われ、大変有意義な会だったと思います。

平野さん(教育学部支部、「附属学校」分科会に参加)

附属学校が共通に抱える、(1)交付金削減に伴う予算・定員の削減、(2)公立との人事交流の継続確保や人員確保(再雇用を含む)、(3)公立との賃金格差や異動時の退職金の問題、(4)変形時間労働制でも環境が改善しない労働時間管理の問題、(5)附属学校の再編問題等の課題について、アンケート結果も踏まえた情報交換が行われた。また、教育基本法改正に関する講演(近畿大 土屋氏)等が行われた。

乗田さん(職員支部、「事務職員」分科会に参加)

9月22日～24日にかけて一橋大学で開催された「第18回全体教職員研修集会」に参加してきました。私は23・24両日に行われた分科会B「事務職員」に出席し、10数名の各国立大学法人の職員の方々と交流しました。主に現在国立大学法人が直面している課題について話し合い、非常に有意義な時間を過ごすことができ、また仕事に対する価値観も変わったように思います。また機会があれば、ぜひ参加したいです。



## 組合メーリング・リスト(ML)の運用方法について

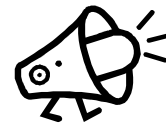
先日発行しました「くみあいニュース第3号」において、組合のMLの運用方針を中執より、ご提案させていただきました。その後、反対意見などはありませんでしたので、中執の提案通り、今後は組合MLを以下のような方針を基に運用していきます。よろしくお願いいたします。

〔組合MLの運用方針についての中執の提案〕

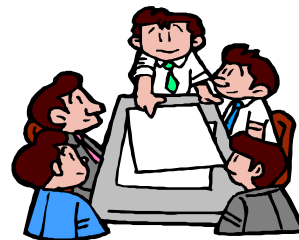
組合メーリングリスト kumiai の運用ガイドラインを次のように定める。

1. 組合メーリングリストは全組合員に開かれています。自由に情報提供および意見交流を行うことができます。
2. ただし次の場合には、中央執行委員会で審議の上、発信の自粛要請または登録の取消を行う場合があります。  
\* 組合員個人からの情報提供の域を超えて、組織的あるいは過剰に情報を送付し続けたと判断される場合

## 2006年度中央執行委員会 活動だより (8/9~10/6)



- 8/9 : 申し入れ書(理事宛; 出雲掲示板の使用確認)提出
- 8/12 : 県教組「憲法・教育基本法の改悪をとめよう! 子どもと教育の未来をひらく8・12県民の集い」(協賛)
- 8/18 : くみあいニュース4号発行
- 8/21 : 調査部打ち合わせ
- 8/24 : 調査部打ち合わせ
- 8/25 : 申し入れ書(出雲掲示板)回答. 原則許可  
「新助手・助教について考える集会」開催  
調査部打ち合わせ
- 8/28 : 第9回四役会議  
第2回人事労務課事務折衝
- 8/29 : 第9回四役会議(継続)  
第5回中央執行委員会
- 8/30 : レディース世話人会
- 9/4 : 第10回四役会議
- 9/5 : くみあいニュース第5号発行  
第2回人事労務課事務折衝
- 9/6 : 理事懇談会(新教員制度について)
- 9/7 : 第11回四役会議
- 9/11 : 組合アンケート打ち合わせ
- 9/13 : 要求集約月間プロジェクト第1回会議
- 9/19 : 第12回四役会議  
第6回中央執行委員会
- 9/22~24 : 第18回全大教教研集会(於:一橋大学)
- 9/28 : 要求集約月間プロジェクト第2回会議
- 10/2 : 第13回四役会議  
調査部打ち合わせ(アンケート)
- 10/3 : 第7回中央執行委員会
- 10/6 : 支部長・専門部長会議  
裁量労働制学習会打ち合わせ



## 全大教ニュース配布

今回のくみあいニュースに併せ、全大教ニュースの9月号、10月号を配布いたします。9月号は配布が遅くなり申し訳ありません。9月号には島根大学の記事が掲載されていますので、是非ご覧下さい。

## 農場だより

今回の農場だよりは神西砂丘農場よりお届けします。出雲市にある神西砂丘農場では、現在サツマイモ収穫時期を迎えています。砂丘地では外観の良いサツマイモができます。9月末には学生が集中実習でたくさんのサツマイモを収穫しました。ここでは主に「ベニアズマ」という品種が栽培されています。今年度末には、神西砂丘農場で収穫されたサツマイモの一部を材料として「いも焼酎」が造られ、生協で販売されることになりました。現在、「いも焼酎」の商品名を募集しています。締切りは10月20日です。詳しくは生物資源教育研究センターのホームページ (<http://ufsu.life.shimane-u.ac.jp/ercbr/>) をご覧ください。



## 教職員共済からのお知らせ



組合では組合員の福利厚生サービスの一環として教職員共済の商品を取り扱っています。「共済」の名が付いていますが、公的な年金・医療保険を取り扱う文部科学省共済とは別のもので、全労済やJA共済などはテレビコマーシャルでおなじみですが、それらの教職員版と考えて頂くとわかりやすいかと思います。

教職員相互の「たすけあい」の精神から生まれた生活協同組合です。

### 教職員共済をご利用中の皆様



「加入状況カード」と「保険料控除証明書」について

10月から「加入状況カード」が順次送付されます。ご利用状況をご確認ください。また、保険料控除証明書はこの「加入状況カード」の一部に記載されることになりましたので、お間違えのないようお願いいたします。

**○総合共済 (随時加入受付中)** 月額わずか800円で、死亡・障害・火災・入院・休業・傷害・退職についてワイドに保障。

**○火災共済 (随時加入受付中)** 住宅の新旧に関係なく、損害の程度に応じて保障。火災以外にも落雷、上階住人からの漏水被害にも対応。

**○団体生命共済** 万一のときの保障は絶対必要!! 死亡保障100万円あたり3千円/年の掛金、2000万円まで保障

**○医療共済** 入院1日あたり5000円の給付が約1000円/月の掛け金で。

**○トリプルガード** 団体生命共済と医療共済を上手にパッケージ。生活の変化にあわせて1年ごとに契約が見直せます。

**○交通災害共済 (一括募集中)** 交通事故のみならず、日々の暮らしで起こるケガ全般をカバー。加害者になってしまったとき、相手方への損害賠償給付もあります。

**○自動車共済 (随時加入受付中)** 全国ネットの損害調査体制、ロードサービスの展開で、事故処理やトラブルへの対応は万全です。損保、他の共済団体の等級を引き継ぎます。

**○車両共済 (随時加入受付中)** あて逃げや、単独事故での愛車の損害をカバー。あなたの愛車への真心サービス。

**○年金共済 (一括募集中)** 現職中から掛金を積み立てて、退職後に年金を受け取ります。有利な積立預金のご利用ができます。

**○新終身共済 (一括募集中)** 死亡・高度障害に対して生涯にわたって保障します。

詳しくは教職員共済のページをご覧ください。見積りもできます。 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>